

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括部長 (氏名) 稲谷 和樹 (TEL) 06-6233-2636  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	19,446	△6.3	776	403.7	1,443	-	1,009	-
2023年3月期	20,745	7.7	154	△12.4	△332	-	△1,617	-

(注) 包括利益 2024年3月期 1,151百万円(-%) 2023年3月期 △1,565百万円(-%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	130.59	-	30.6	14.0	4.0
2023年3月期	△209.30	-	△44.1	△2.8	0.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	9,621	3,801	39.5	491.94
2023年3月期	11,034	2,804	25.4	362.94

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,801百万円 2023年3月期 2,804百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,421	507	△2,354	854
2023年3月期	716	△116	△217	1,267

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00	154	△9.6	4.2
2024年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00	154	15.4	4.7
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	20.00	20.00		15.6	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,718	6.5	1,433	84.5	1,412	△2.2	989	△2.0	128.03

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	7,850,000株	2023年3月期	7,850,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	122,736株	2023年3月期	122,736株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	7,727,264株	2023年3月期	7,727,264株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確実な要素を含んでいません。実際の業績等は今後の様々な要因によって上記の予想数値とは異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症の法的位置付けが移行したことで社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の増加等、緩やかな回復基調となっているものの、個人消費につきましては、実質賃金の減少に加え、物価高の影響があり全体として弱い動きとなっております。

当社グループを取り巻く環境は、物流コストの高騰、為替相場の急激な変動による輸入仕入価格の上昇など厳しい事業環境が続く中、収益性を高める体質に変革していくことが必要であることから、仕入調達ルートの見直しや、在庫の削減等収益改善に努め、当社の国内外の生産・開発拠点を最大限活用したメーカー志向を推進し、パッケージを起点としてお客様の要望をくみ取り様々なサービスを提供する総合支援メーカーとして、複合営業を強化し企業価値を高め、成長を目指してまいりました。

その結果、当連結会計年度における売上高は19,446百万円（前年同期比6.3%減）となりました。利益面につきましては、商品販売事業の利益率が大きく改善されたことにより、営業利益は776百万円（前年同期比403.7%増）と大きく回復しました。またデリバティブ評価益として688百万円を計上した結果、経常利益は1,443百万円（前年同期は332百万円の経常損失）となりました。固定資産の売却益を202百万円計上したものの、株式会社ファインケメティックスにかかる顧客関連資産等の減損損失として258百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は1,009百万円（前年同期は1,617百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### (営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、お客様の製品の包材、アSEMBリ、企画から配送にいたるまで、商品・サービスの提供、支援をする事業であります。

販促品キャンペーンを軸とする販売は、タイの自社工場で製造している機能性ポリエチレン製品の受注は大きく増加したものの、巣ごもり需要の大口販促の企画が減少したことで前年同期を下回りました。OEMについては、衛生素材等の案件は感染症が落ち着きつつある中で減少し、化粧品等の案件は件数増となっているものの小口化しており、さらに雑貨等のピロー包装やアSEMBリ作業はメーカーの過剰在庫が影響したこと等で減少したことにより、OEM事業全体では大きく落ち込みました。発送代行については、印刷物コストや配送運賃の上昇によるものやECへの移行といった環境の変化による通数の減少があったことから前年同期を下回りました。

利益面につきましては、仕入れルートの変更や販売価格の見直しを進めたこと、また化粧品案件の増加に伴う自社工場の稼働率が高かったことから売上総利益率は上昇し、セグメント利益額も増加いたしました。

その結果、売上高は9,521百万円（前年同期比9.3%減）、セグメント利益は383百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

#### (商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストア等量販店、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供する事業であります。

100円ショップ向けについては、高額商品の投入を進めていることや、消臭袋、鮮度保持袋に代表される付加価値の高いポリエチレン製品の需要の深耕を行い既存品の横展開を行ったことで好調に推移しました。また社会活動の正常化が進んだことによる外出機会の増加により行楽・トラベル用品も好調であることから前年同期を上回っております。量販店向けについては、ポリエチレン製品は100円ショップ向け同様安定した売上があるものの、紙製品を中心としたコンテナ直送での販売がなくなったことが大きく影響し減少となりました。

利益面につきましては、全般的に円安による仕入原価への影響は大きいものの、収益性の高い製品の導入、サプライチェーンの見直し、そして市場の状況に応じた仕様変更や廃番を積極的に進めるといった収益性の改善に努めたことから、セグメント利益額は大幅な回復となりました。

その結果、売上高は10,053百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は393百万円（前年同期は207百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産の部)

当連結会計年度末における流動資産の残高は6,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ897百万円減少しました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品等が減少したことによるものであります。固定資産の残高は2,884百万円となり、前連結会計年度末に比べ515百万円減少しました。これは主に土地や顧客関連資産等が減少したことによるものであります。

### (負債の部)

当連結会計年度末における流動負債の残高は4,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,825百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金や短期借入金等が減少したことによるものであります。固定負債の残高は942百万円となり、前連結会計年度末に比べ584百万円減少しました。これは主にデリバティブ債務等が減少したことによるものであります。

### (純資産の部)

当連結会計年度末における純資産の残高は3,801百万円となり、前連結会計年度末に比べ996百万円増加しました。これは主に利益剰余金等が増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ412百万円減少し、854百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,421百万円となりました。これは主に固定資産売却益202百万円、デリバティブ評価益638百万円があったものの、税金等調整前当期純利益1,387百万円を計上したこと等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は507百万円となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入706百万円があったこと等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,354百万円となりました。これは主に短期借入金の純減額2,060百万円、配当金の支払額154百万円があったこと等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

国内経済情勢については、海外の地政学リスクに伴う原材料価格の高騰に加えて急激な為替の変動により経済情勢は不安定な状態が続いており、個人消費は実質賃金の減少に加え、物価高の影響で節約志向が強まり全体として弱い動きとなっております。

そのような中で、当社グループは、営業促進支援事業、商品販売事業ともに、市況の変動に柔軟に対応し、収益性を維持できる体質に変革を進めてまいりました。そのために、当社の3つの国内生産センター、株式会社ファインケメテックス、SHOEI PLASTIC (THAILAND) CO., LTD. という2つのメーカーを最大限活用したメーカー志向を推進するために、化粧品、日用品のR&D体制の拡充を進め、OEM・ODMメーカーとして研究開発力・企画提案力の強化に主軸を置いてまいります。またエンドユーザー向けの営業活動を進め、パッケージを起点として得意先の要望をくみ取り、様々な製品・サービスを複合的に提供する総合支援メーカーを目指してまいります。

次期（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高は20,718百万円（前年同期比6.5%増）といたしました。営業利益は1,433百万円（前年同期比84.5%増）、前期に計上したデリバティブ評価益の影響がなくなることから経常利益は1,412百万円（前年同期比2.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益989百万円（前年同期比2.0%減）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により作成する財務諸表が当社グループの経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しており、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準(I F R S)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,136	854,675
受取手形及び売掛金	2,973,057	2,675,168
電子記録債権	697,783	741,176
商品及び製品	1,757,903	1,547,869
仕掛品	228,760	198,899
原材料及び貯蔵品	491,613	452,591
前渡金	83,196	131,509
未収入金	54,284	60,296
その他	81,847	75,276
貸倒引当金	△1,022	△808
流動資産合計	7,634,559	6,736,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,326,993	1,217,337
減価償却累計額	△798,090	△752,471
建物及び構築物(純額)	528,903	464,865
機械装置及び運搬具	811,643	948,105
減価償却累計額	△619,240	△690,816
機械装置及び運搬具(純額)	192,403	257,289
工具、器具及び備品	297,782	286,932
減価償却累計額	△247,787	△248,476
工具、器具及び備品(純額)	49,994	38,456
土地	1,414,975	929,263
リース資産	486,537	534,935
減価償却累計額	△320,960	△340,898
リース資産(純額)	165,576	194,037
建設仮勘定	5,474	15,517
有形固定資産合計	2,357,326	1,899,430
無形固定資産		
顧客関連資産	147,361	-
リース資産	39,198	5,335
その他	24,263	18,840
無形固定資産合計	210,823	24,176
投資その他の資産		
投資有価証券	435,593	531,678
差入保証金	165,933	134,718
退職給付に係る資産	175,981	245,244
繰延税金資産	12,044	7,460
その他	84,980	100,719
貸倒引当金	△42,655	△58,564
投資その他の資産合計	831,878	961,257
固定資産合計	3,400,028	2,884,863
資産合計	11,034,587	9,621,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,251,317	1,085,895
短期借入金	4,680,000	2,620,000
1年内返済予定の長期借入金	152,952	191,420
リース債務	77,653	72,998
未払金	174,901	162,331
未払費用	151,762	178,452
未払法人税等	44,620	321,446
未払消費税等	28,664	86,313
賞与引当金	114,131	121,497
その他	26,393	36,907
流動負債合計	6,702,396	4,877,262
固定負債		
長期借入金	466,834	369,614
リース債務	122,184	177,257
繰延税金負債	62,789	160,373
退職給付に係る負債	65,509	68,070
長期未払金	137,022	137,022
デリバティブ債務	639,638	-
その他	33,681	30,608
固定負債合計	1,527,659	942,944
負債合計	8,230,055	5,820,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	1,071,452	1,926,029
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	2,537,902	3,392,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,398	189,384
繰延ヘッジ損益	△2,190	4,084
為替換算調整勘定	136,422	215,363
その他の包括利益累計額合計	266,629	408,831
純資産合計	2,804,532	3,801,311
負債純資産合計	11,034,587	9,621,518

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	20,745,635	19,446,018
売上原価	17,060,090	15,368,240
売上総利益	3,685,544	4,077,778
販売費及び一般管理費	3,531,305	3,300,883
営業利益	154,239	776,894
営業外収益		
受取利息	334	1,545
受取配当金	27,215	9,042
為替差益	46,571	5,980
デリバティブ評価益	—	688,488
資材売却収入	4,089	6,031
その他	14,629	10,704
営業外収益合計	92,840	721,792
営業外費用		
支払利息	33,689	25,819
デリバティブ評価損	522,444	—
貸倒引当金繰入額	13,610	16,170
その他	9,807	12,711
営業外費用合計	579,552	54,701
経常利益又は経常損失(△)	△332,472	1,443,985
特別利益		
固定資産売却益	146	202,689
投資有価証券売却益	3,739	—
特別利益合計	3,886	202,689
特別損失		
固定資産除却損	10,518	207
減損損失	1,641,697	258,934
特別損失合計	1,652,216	259,142
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,980,802	1,387,533
法人税、住民税及び事業税	93,080	304,946
法人税等調整額	△456,535	73,464
法人税等合計	△363,454	378,411
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,617,347	1,009,122
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,617,347	1,009,122

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△1,617,347	1,009,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,598	56,985
繰延ヘッジ損益	△2,190	6,275
為替換算調整勘定	46,333	78,940
その他の包括利益合計	51,741	142,202
包括利益	△1,565,606	1,151,324
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,565,606	1,151,324

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	715,615	807,752	2,843,345	△56,918	4,309,795
当期変動額					
剰余金の配当			△154,545		△154,545
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,617,347		△1,617,347
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△1,771,892	-	△1,771,892
当期末残高	715,615	807,752	1,071,452	△56,918	2,537,902

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	124,799	-	90,089	214,888	4,524,683
当期変動額					
剰余金の配当					△154,545
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△1,617,347
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,598	△2,190	46,333	51,741	51,741
当期変動額合計	7,598	△2,190	46,333	51,741	△1,720,151
当期末残高	132,398	△2,190	136,422	266,629	2,804,532

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	715,615	807,752	1,071,452	△56,918	2,537,902
当期変動額					
剰余金の配当			△154,545		△154,545
親会社株主に帰属する当期純利益			1,009,122		1,009,122
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	854,577	-	854,577
当期末残高	715,615	807,752	1,926,029	△56,918	3,389,230

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	132,398	△2,190	136,422	266,629	2,804,532
当期変動額					
剰余金の配当					△154,545
親会社株主に帰属する当期純利益					1,009,122
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	56,985	6,275	78,940	142,202	142,202
当期変動額合計	56,985	6,275	78,940	142,202	996,779
当期末残高	189,384	4,084	215,363	408,831	3,801,311

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,980,802	1,387,533
減価償却費	320,896	243,526
のれん償却額	59,080	—
減損損失	1,641,697	258,934
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,551	15,695
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,265	7,297
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△8,046	△69,262
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,101	1,413
受取利息及び受取配当金	△27,550	△10,588
支払利息	33,689	25,819
固定資産除却損	10,518	207
固定資産売却損益(△は益)	△146	△202,689
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,739	—
デリバティブ評価損益(△は益)	633,872	△638,424
売上債権の増減額(△は増加)	△137,540	254,219
棚卸資産の増減額(△は増加)	432,138	316,693
仕入債務の増減額(△は減少)	△175,305	△215,920
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,531	57,649
その他	△10,186	57,852
小計	753,226	1,489,957
利息及び配当金の受取額	27,550	10,588
利息の支払額	△33,539	△25,737
法人税等の還付額	70,206	12,472
法人税等の支払額	△101,193	△66,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	716,250	1,421,144
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△122,337	△211,732
有形固定資産の売却による収入	146	706,870
無形固定資産の取得による支出	△11,570	△4,300
投資有価証券の取得による支出	△13,382	△14,056
投資有価証券の売却による収入	7,325	—
差入保証金の差入による支出	△1,740	△2,964
差入保証金の回収による収入	25,237	33,871
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,322	507,687
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△80,000	△2,060,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△173,916	△158,752
リース債務の返済による支出	△108,648	△81,824
配当金の支払額	△154,550	△154,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,115	△2,354,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,336	13,654
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	388,149	△412,461
現金及び現金同等物の期首残高	878,987	1,267,136
現金及び現金同等物の期末残高	1,267,136	854,675

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「貸倒引当金繰入額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、営業外費用の「その他」に表示していた23,418千円は、「貸倒引当金繰入額」13,610千円、「その他」9,807千円として組み替えております。

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち独立した財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービスごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、「営業促進支援事業」「商品販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

「営業促進支援事業」は、お客様自身の営業を一層促進していただくために、企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をし、資材販売、販売促進、充填セットや封入封緘、物流などを行う事業であります。

「商品販売事業」は、100円ショップ向け、ドラッグストアといった量販店向け、新聞販売店を含む小売販売店などに対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供する事業であります。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	計
	営業促進 支援事業	商品販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,498,357	10,235,277	20,733,635	12,000	20,745,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	113,388	113,388	-	113,388
計	10,498,357	10,348,665	20,847,023	12,000	20,859,023
セグメント利益又はセグメント損失(△)	357,984	△207,906	150,077	3,866	153,944
セグメント資産	5,257,589	3,844,439	9,102,028	504,960	9,606,989
その他の項目					
減価償却費	225,741	93,015	318,756	1,695	320,452
のれんの償却額	59,080	-	59,080	-	59,080
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	126,973	70,069	197,042	-	197,042

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	計
	営業促進 支援事業	商品販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,521,378	9,924,639	19,446,018	-	19,446,018
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	128,385	128,385	-	128,385
計	9,521,378	10,053,025	19,574,404	-	19,574,404
セグメント利益	383,840	393,054	776,894	-	776,894
セグメント資産	4,876,074	3,671,550	8,547,625	-	8,547,625
その他の項目					
減価償却費	149,939	93,038	242,978	-	242,978
のれんの償却額	-	-	-	-	-
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	188,971	158,210	347,181	-	347,181

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,847,023	19,574,404
「その他」の区分の売上高	12,000	-
セグメント間取引消去	△113,388	△128,385
連結損益計算書の売上高	20,745,635	19,446,018

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	150,007	776,894
「その他」の区分の利益	3,866	-
セグメント間取引消去	295	-
連結損益計算書の営業利益	154,239	776,894

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,102,028	8,547,625
「その他」の区分の資産	504,960	-
セグメント間取引消去	-	-
全社資産(注)	1,427,598	1,073,893
連結貸借対照表の資産合計	11,034,587	9,621,518

(注) 全社資産は、主に手元資金、本社管理部門に属する資産等、報告セグメントに帰属しない資産であります。

(単位：千円)

その他項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	318,756	242,978	1,695	-	-	-	320,452	242,978
のれんの償却額	59,080	-	-	-	-	-	59,080	-
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	197,042	347,181	-	-	-	-	197,042	347,181

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産	362.94円	491.94円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△209.30円	130.59円

- (注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△1,617,347	1,009,122
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△1,617,347	1,009,122
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,727,264	7,727,264

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。